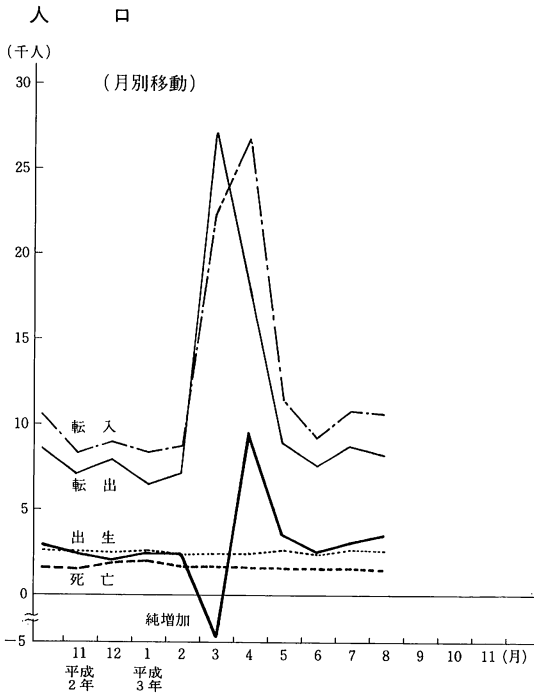
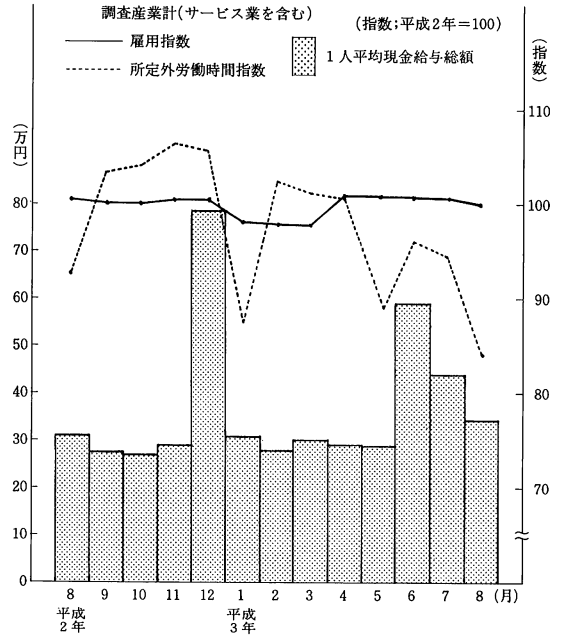


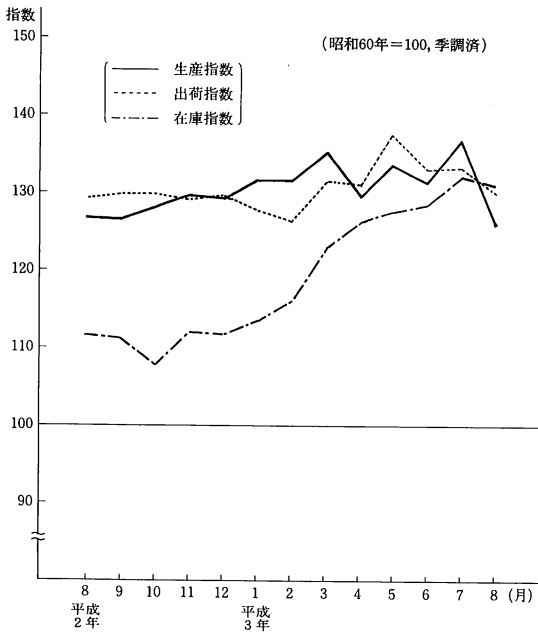
今月の主な動き



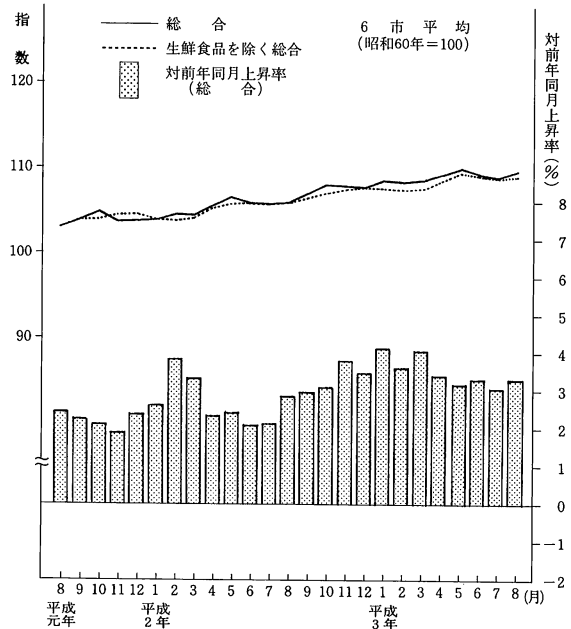
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部 統計課

■ 人 口 (9月1日)

本県の人口は、8月中に3,405人増加し、9月1日現在で2,874,170人(男1,434,909人、女1,439,261人)となった。内訳は、自然動態で1,027人(出生2,506人、死亡1,479人)増加し、社会動態で2,378人(転入10,631人、転出8,253人)増加した。

市町村別では、増加が18市46町村、減少が2市20町村、増減なしが2村である。

世帯数についても8月中に1,332世帯増加し854,202世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (8月)

1. 平均賃金の推移

8月の現金給与総額は、調査産業計で339,666円、対前年同月比12.2%増、このうちきまって支給する給与は276,959円、対前年同月比5.0%増であった。また、このうち所定内給与は248,414円、対前年同月比6.1%増であり、超過労働給与は21,041円、対前年同月比9.3%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比8.4%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

8月の総実労働時間は、調査産業計で155.7時間、対前年同月比2.4%減であった。このうち所定内労働時間は139.5時間、対前年同月比1.3%減、所定外労働時間は、18.3時間、対前年同月比9.7%減であった。

3. 雇用の動き

8月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.3%減であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (8月分)

本県における平成3年8月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が125.9、出荷が130.4、在庫が131.3で、前月比は、生産が△6.7%の低下、出荷が△2.0%の低下、在庫が△1.0%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△0.5%の低下、出荷が1.0%の上昇、在庫が17.6%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業、精密機械工業、電気機械工業が上昇し、石油・石炭製品工業、一般機械工業、非鉄金属工業等が低下した。出荷では、鉱業、一般機械工業、精密機械工業等が上昇し、食料品・たばこ工業、

窯業・土石製品工業、輸送機械工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、食料品・たばこ工業、鉄鋼業等が上昇し、鉱業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、耐久消費財が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。出荷では、耐久消費財と資本財が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。在庫では、鉱工業用生産財、非耐久消費財が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (8月)

平成3年8月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で109.5(昭和60年=100)となり、前月比0.5%の上昇、前年同月比3.3%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海藻9.4%、油脂・調味料2.2%、乳卵類2.1%、魚介類1.8%

今月下がった主な項目……衣料△3.8%、シャツ・下着△3.4%

生鮮食品を除く総合は108.9となり、前月と変わらず、前年同月比2.9%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	109.5	0.5	3.3	保健医療	106.1	0.0	0.1
食 料	110.4	1.6	4.9	交通通信	103.9	△0.1	1.1
住 居	122.3	0.1	4.2	教 育	125.5	0.0	0.8
光熱・水道	92.4	0.0	2.6	教養娯楽	114.4	1.0	3.2
家具・家事用品	102.9	0.6	2.9	諸 雑 費	107.3	△0.1	1.0
被服及び履物	110.0	△2.8	4.3	生鮮食品を除く総合	108.9	0.0	2.9